

テバコモミジガサ

学名 *Cacalia tebakaensis* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地はかなり広いが、個体数は比較的少なく、森林伐採や植生遷移の進行で、生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(関東地方, 東海道, 奈良, 中国地方西部), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の林内。
現状	同一場所に混生するモミジガサに比べ個体数が極めて少ない。多くは谷沿いに生育するため、生育地を流失した所がある。
備考	ソハヤキ要素の植物。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]